

令和3年度 関西広域応援訓練（図上・実動）の実施結果について

令和3年12月22日
広域防災局

1 訓練目的

「関西広域応援・受援実施要綱」「緊急物資円滑供給システム」「基幹的物資拠点（0（ゼロ）次物資拠点）運用マニュアル」等に定める広域応援・受援活動、物資供給の手続きを確認する訓練を実施することで、関西広域連合、構成団体、連携県等の連携強化及び対処能力向上を図る。

2 訓練想定

直下型地震が発生し、徳島県、兵庫県を中心に関西圏域に甚大な被害が発生。

1次物資拠点が使用不能となった徳島県から要請を受け、三木総合防災公園に基幹的物資拠点（0次物資拠点）を開設し、物資調整を実施。徳島県の2次物資拠点への物資輸送を行うが、鳴門大橋の決壊により、淡路島から海上自衛隊船舶による物資輸送を実施。

3 訓練内容

区分	図上訓練	実動訓練	実動訓練 (近畿府県合同防災訓練と同時開催)
日時	10/15（金） 13:00～17:00	11/26（金） 13:00～16:30	12/5（日） 10:00～12:00
形式	WEB	ハイブリッド (現地+WEB)	現地
会場	各団体オフィス	三木総合防災公園	淡路市生穂新島
訓練内容	・0次拠点開設訓練 ・協定物資調達訓練 ・広域応援訓練	・0次拠点開設訓練 ・支援物資調整訓練 ・物資搬入及び搬出訓練	・海上自衛隊船舶への物資受渡訓練
参加機関	55団体・90人	28団体・48人	約200団体・約1800人

< 訓練活動風景 >

○図上訓練
(兵庫県災害対策センター)



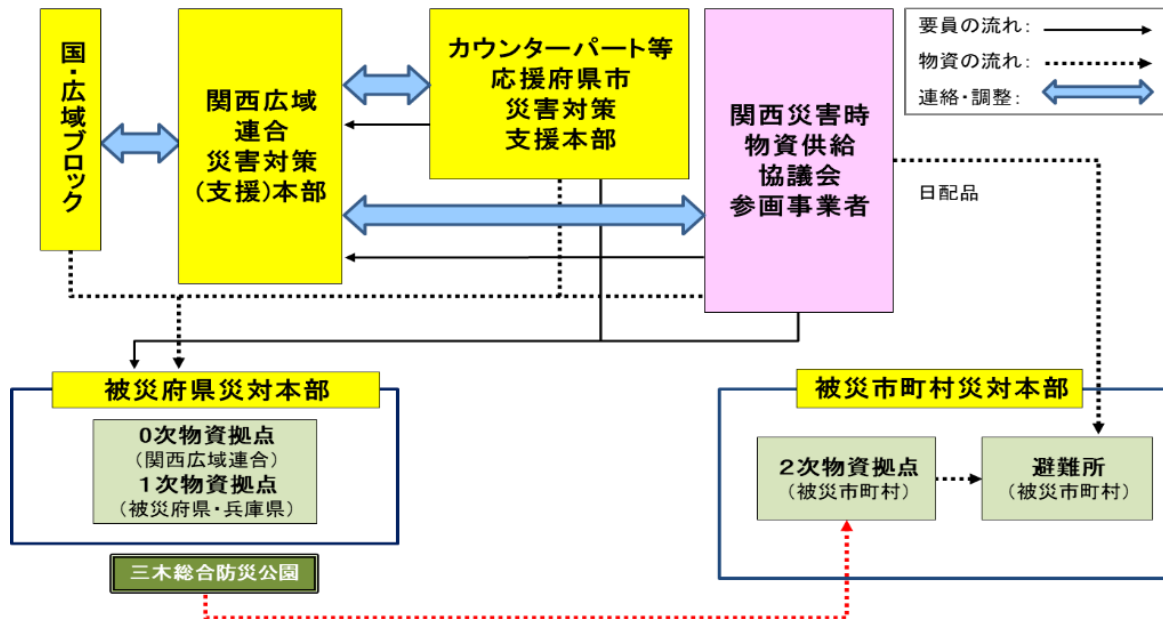
○実動訓練
(三木総合防災公園)



○実動訓練
(淡路市生穂新島)



<訓練内容イメージ図>



4 訓練結果

(1) 図上訓練

- ・顔の见えない状況で進むリモート訓練は実災害時の状況に近いので、有意義であった。
- ・多様な参加者で実施する訓練であったので、行政、民間問わず貴重な経験となった。

(2) 実動訓練

- ・現地で施設を見て、具体的にどう動くべきかという全体の流れを確認できたことが有意義であった。
- ・実際に荷役作業に関わったことで、実災害時の時のイメージが沸きやすく、現地で身体を動かす訓練の重要性を感じた。

【参考】

<参加機関一覧>

図上訓練参加機関（55 団体・90 人）	実動訓練参加機関（28 団体・48 人）
<p>関西広域連合構成団体・連携県（14 団体）</p> <p>滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市、福井県、三重県</p>	<p>関西広域連合構成団体（10 団体）</p> <p>滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、京都市、神戸市、三重県</p>
<p>関西災害時物資供給協議会参画団体・事業者（34 団体）</p> <p>佐川急便(株)、日本通運(株)、ヤマト運輸(株)、滋賀県トラック協会、京都府トラック協会、兵庫県トラック協会、奈良県トラック協会、和歌山県トラック協会、鳥取県トラック協会、徳島県トラック協会、滋賀県倉庫協会、京都倉庫協会、大阪倉庫協会、兵庫県倉庫協会、和歌山県倉庫協会、NPO 法人コメリ災害対策センター、(株)セブソン-イレブソン・ジャパン、(株)ファミリーマート、ミニストップ(株)、(株)ローソン、滋賀県生活協同組合連合会、京都府生活協同組合連合会、大阪府生活協同組合連合会、兵庫県生活協同組合連合会、奈良県生活協同組合連合会、和歌山県生活協同組合連合会、市民生活協同組合ならこぽ、わかやま市民生活協同組合、生活協同組合とくしま生協、アサヒ飲料(株)、(株)総合サービス、ダイトードリンク(株)、(株)ハマネツ、森永乳業(株)、</p>	<p>関西災害時物資供給協議会参画団体・事業者（14 団体）</p> <p>佐川急便(株)、ヤマト運輸(株)、滋賀県トラック協会、京都府トラック協会、兵庫県トラック協会、徳島県トラック協会、兵庫県倉庫協会、イオンテール株式会社、株式会社セブソン-イレブソン・ジャパン、大阪府生活協同組合連合会、わかやま市民生活協同組合、株式会社総合サービス、P&G ジャパン合同会社、山崎製パン株式会社、</p>
<p>広域ブロック（3 団体）</p> <p>九州地方知事会、中国地方知事会、四国知事会</p>	<p>国機関（4 団体）</p> <p>内閣府、国土交通省、近畿運輸局、神戸運輸管理部</p>
<p>国機関（4 団体）</p> <p>内閣府、総務省、近畿運輸局、神戸運輸管理部</p>	